

昨年、麻生区役所から1本のフィルムが発見された。
それは今から40年前に川崎市が企画し、神奈川ニュース映画協会が製作した
記録映画『かわさき—あの日あの時—』だった。
麻生市民館大ホールの修理され復活した16mm映写機を特別に移設し、
貴重なオリジナルフィルムによる今回限りの上映会を開催。
同時上映は、昨年市制100周年記念事業で
日本映画大学と麻生区役所が制作し、麻生エリアの誕生から発展を追った
記録映画『あさお誕生ものがたり～語り継ぎたい60年のあゆみ～』。
川崎市・麻生の歴史に触れる特別な上映を、ぜひ劇場で!



『市政三十周年を祝う川崎』(1954)



『伸びる市民の足』
トロリーバス(1957)



『丘陵地帯に続々団地』
百合ヶ丘団地(1960)



修理された
麻生市民館大ホールの
16mm映写機(実物)

フィルムでよみがえる

16mm
フィルム
上映

かわさき—あの日あの時—

市制60周年までの川崎市のあゆみをまとめた川崎市政ニュース映画の総集編

【登場する主な出来事】『消える大師のり』／『工都の師走』歳末の銀柳街／『伸びる市民の足』トロリーバス(柿生)／
『丘陵地帯に続々団地』五所塚団地・百合ヶ丘団地(百合ヶ丘)／『もりあがる美化運動』／『川崎駅前の高架線開通』／
『春二題』川崎市電の廃止／『指定都市スタート』政令指定都市調印など

1984 | ドキュメンタリー | カラー | スタンダード | 16mm | 30min



まだ信号のない百合ヶ丘駅前商店街
麻生区写真アーカイブ(1966ごろ)



『まちをつくる農民たち 第一部』(1977)



『工都の師走』
歳末の銀柳街(1959)

総天然色

同時上映

デジタルでふりかえる

あさお誕生ものがたり

発見された映像の数々と関係者へのインタビューでたどる60年に渡る地域の歴史

ナレーション:音無美紀子(特別出演)

インタビュー出演:平本一雄 中島真一 菅原敬子 北條秀衛 宮野敏男 高桑光雄 白井勇 藤田直哉

企画・制作:日本映画大学 川崎市麻生区役所 製作:日本映画大学

2024 | ドキュメンタリー | カラー | ビスタ | Blu-ray | 34min ©2024 日本映画大学



川崎市映像アーカイブ上映会

10.25 [土] 10:30-12:00

【会場】川崎市アートセンター 小劇場 入場無料/申込制

作品上映の合間に、関係者によるトークあり/定員150名 [定員以上の応募の場合は抽選]

主催:川崎市市民文化局市民文化振興室 企画制作協力:日本映画大学 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム

協力:川崎市麻生区役所 有限会社 鈴木映画 運営:株式会社 ノクチ基地

【お問い合わせ】運営:ノクチ基地 044-400-0410 主催:川崎市市民文化局市民文化振興室 044-200-2433



【応募方法】

QRコードのフォーム

またはメールでノクチ基地 (hello@nokuchikichi.com) まで

期限:10月20日 [月]



麻生区役所(1982)



『ふるさと麻生再発見!!』
麻生区区制30周年記念作品(2013)



『明日にははだけ麻生—91区民まつりの記録』
ふるさとあさお(1991)